

退任挨拶

育友会活動を 通して得た 絆と感謝を胸に



令和6年度育友会長 溝田勝彦

ご父母・保護者の皆様におかれましては、日頃より育友会活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この1年間、育友会活動に尽力してまいりましたが、全国の育友会員の皆様をはじめ、育友会本部・支部役員の皆様、大学教職員の皆様、校友会の皆様、そして育友会事務局の皆様の多大なるご支援に支えられ、無事に任務を遂行できましたことを心より感謝申し上げます。

専修大学の卒業生として、母校である大学に貢献できる機会を得たことは、私にとって非常に意義深いものでした。多くのご父母・保護者の皆様と触れ合い、親同士の温かな交流を築けたことも、私にとって大きな財産です。また、この4年間、私は育友会奨励賞の選考委員を務める機会をいただき、学生たちの挑戦する姿勢や熱意に触れることができました。彼らの努力と創造力に直接関わる中で、その可能性の大きさに改めて感銘を受けました。育友会の支援が学生たちの未来へとつながることを実感できたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。また、令和6年度も台風の影響で中止を余儀なくされた和歌山支部を除く全国66支部61会場において支部懇談会が開催され、ご父母・保護者の皆様と大学が直接交流できる場を提供することができました。大学の最新の取り組みや学生生活・就職に関する情報を共有し、不安や疑問を解消する機会となったことを嬉しく思います。会員同士の交流も深まり、専修大学に関わる親としてのつながりを強めること

ができたことは、大きな成果であると感じております。

育友会の活動では、その他にも、学生の挑戦を後押しするさまざまな取り組みが行われています。育友文庫を通じた学習環境の充実、体育会学生への応援・援助、そして育友会奨励学生制度の運営など、多岐にわたる支援によって、学生一人ひとりの成長を支えています。これらの取り組みが今後もより多くの学生に恩恵をもたらすことを願っております。

「ご父母・保護者には安心を、学生には自信を」という育友会のキャッチフレーズのもと、新しい役員の皆様がさらに活動を発展させ、専修大学の学生とご父母・保護者の皆様との関係をより良いものへと導いてくださることを確信しております。

最後になりますが、専修大学に関わるすべての皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今後も卒業生の一員としてその発展を見守り、専修大学を支える活動に微力ながら貢献してまいりたいと存じます。



↑ 神奈川東・西支部懇談会で育友会の活動を紹介

育友会奨励賞表彰式で受賞者を表彰→